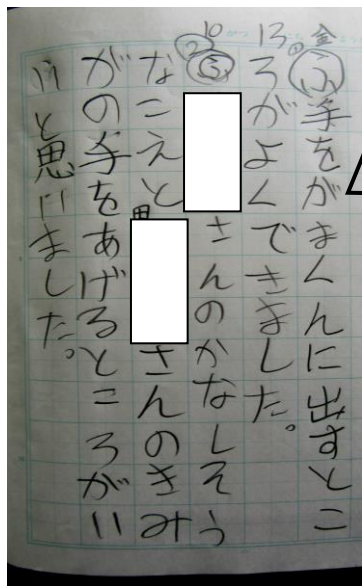


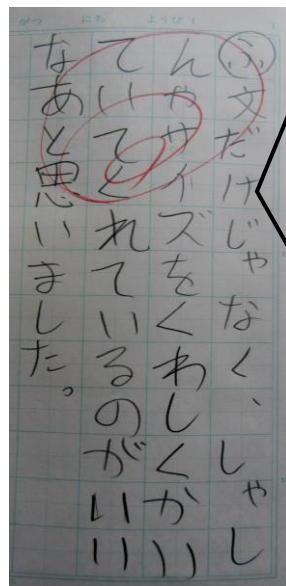
学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	指宿市立川尻小学校	児童生徒数	36人
-----	-----------	-------	-----

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



登場人物の気持ちに即した音読や動作化の工夫に気付いています。それらを、自分が音読する際に生かすことができていました。



友達が作成した「おもちゃの作り方説明書」を分かりやすくするために、どのような工夫をしているかという視点で読んでいます。それらを参考に、自分が説明書を作成する際に生かしながら完成させることができていました。

○ 「ふりかえり」の **ふ** と書いて、今日の学習の振り返りを書かせている。
(振り返りの観点(例))

- ・ 自分の活動のよかったこと
- ・ 学習して発見したことや初めて知ったこと
- ・ 友達の発表でよかったこと
- ・ 学習して分かったこと

取組についての概要 (成果)

2学期 第2学年 国語科「お手紙」, 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」での実践
振り返りは、ほぼ毎時間、ノートに記述する方法で取り組ませている。

実態に合わせて、「がんばったこと」、「初めて知ったこと」、「難しかったこと」、「もっと知りたいこと」等を観点とするように助言している。また、発表を伴う学習内容では、「友達のよかったところ」、「参考にしたいところ」等も書き加えさせている。

友達へのメッセージを書いた場合は、お互いに紹介させ称賛し合う機会も設定している。友達同士で称賛し合うことで、本時の学習に対する満足感や達成感を味わい、今後の学習への関心・意欲が高まっていると感じる。

また、振り返り記述を続けることで、教師は子供一人一人の学習意識や理解度を把握し、個別指導や次時の授業へと生かしていくことができています。

そして、その積み重ねが学力向上につながると考えている。